

道路工業株式会社

所在地 札幌市中央区南8条西15丁目2番1号

従業員数 180人

事業内容 建設業

(令和3年8月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

日常を快適に過ごすには、健康が第一です。従業員の健康意識を高めるには、従業員とその家族の安全と健康を維持し、働きやすく快適な職場をつくることが会社の責務と考え、健康経営に取り組んでいます。

会社施設内の禁煙や、働き方改革の一環として積極的な有給休暇の取得を促進し、リフレッシュできるような職場環境づくりにも力を入れています。

健康管理がより身近なものになるよう今後もより良い環境を整え、継続的な健康経営に取り組んでいきます。

特に力を入れた取り組みとその効果

定期健診は、受診費用や腫瘍マーカー等一部オプションを会社にて負担し、対象者全員が受診できる制度を設けています。全従業員の定期健診を行うことはもちろんですが、再検査・精密検査を促進し、さまざまな病気の早期発見・早期治療や、病気そのものを予防することに取り組み、生活改善につながるよう再受診率100%を目指しています。その結果、従業員の健康管理に対する意識が変わっているように見受けられます。

また、全社員を集めて行う社内研修において健康に関する講師を招いての講話を実施し、毎年1年間の安全を祈願する安全祈願時にコミュニケーションの一環として、ゲーム大会やBBQをすることにより、風通しの良い職場づくりを行っています。

現在、各事業所に非接触型体温計や手指の消毒液を入口に設置して、コロナ感染症対策を行っています。



社内研修 健康に関する講師を招き講話を実施



各事業所に非接触型体温計を設置

株式会社早水組

所在地 北海道網走市南2条西5丁目1番地1

従業員数 80人

事業内容 総合建設業

(令和3年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

職員が健康に働ける環境づくりが会社にとって、生産性の向上に繋がるという基本方針のもと、想定されるリスクを捉え、全国土木建築国民健康保険組合のご指導、ご協力を受けながら情報提供と共有、あらゆる視点を持ちながらの実践、検証などを重ね続け、職員のみならず家族の笑顔に繋げられる健康を維持し活力あふれ 安心、安全に働けることを目指し生活習慣病の未然防止、早期発見と治療ができる体制と環境づくりが企業風土となっています。

特に力を入れた取り組みとその効果

毎年1回、衛生面における活動を都度必要とするテーマに沿って、セミナーを行っています。

運動促進であれば、社内運動会や身体の動かし方や体操、心のケアであればメンタルヘルス、ハラスメント、コミュニケーションといった分野で専門講師を招き全役職員を対象に情報の提供と実践による気づきを促しています。健康意識の向上を図る指標として実施後のアンケートにおいて概ね75%以上の高い有効性があり検証、改善を継続しています。



社内外における感染症対策の徹底



ハチ抗体検査を行い陽性者へはエピペンを処方

不二建設株式会社

所在地 滝川市西滝川232番地1

従業員数 80人

事業内容 道路舗装工事、一般・農業土木工事他

(令和3年6月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

世の中が「健康経営」を求める時代になったことへの対応として取り組みを始めました。若い世代の採用にとっても、また社員がさらに元気に働ける環境を整えるためにも必要と考えたからです。まずは当社で実施していることを整理し、確認しましたが、優良法人の認定については、すでに実施している項目で無理なく対応できることがわかり応募しました。

「健康経営」の取り組みを通して、社員一人一人が健康で質の高いパフォーマンスを発揮し、「従業員エンゲージメント」が高まることを期待しています。

特に力を入れた取り組みとその効果

こころの健康づくりについては、「心の健康づくり計画」を策定し、セルフケアの推奨、コミュニケーションの活性化、相談体制の整備、社内グループウェアでの情報発信などの結果、休職者ゼロが続いています。

長時間労働対応については、有給休暇取得や残業時間の削減を成績評価に取り入れたことで、有給休暇の取得率が上昇し、残業時間が大幅に削減されました。今後は男性の育児休暇制度の取得者も現れる事を期待しています。

こころの健康づくりも長時間労働対応も、「健康経営」として取り組む以前から実施していたため、いずれもスムーズに対応することができました。



事務所入口にて感染症対策を実施しています



社内グループウェアで情報提供をしています

株式会社佐々木組

所在地 岩手県一関市山目字中野140—5

従業員数 127人

事業内容 総合建設業

(令和3年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

弊社は、多年にわたり、土健保の保健師さんより毎年保健指導を頂き、健康の大切さを経営者はじめ従業員も実感し、会社独自の健康づくりを実践してきました。

毎年の健康管理を通して、一人一人の従業員を大切にする弊社の企業理念は、従業員の健康を経営的視点から考え、戦略的に実施する「健康経営」と価値観を共有でき、健康経営を実践することで、より継続的な会社経営活動の活力と成長につながると考え、取り組むこととしました。

特に力を入れた取り組みとその効果

年に1度の生活習慣病健診は大変重要で、疾病を発見することで、早期に治療するきっかけとなり、生涯において大きな影響を及ぼすことがあります。弊社では所見があった従業員にできるだけ対面で声掛けをして、医療機関への受診を促すことを丁寧に行っていました。後日、感謝の言葉を頂くと励みにもなります。

また、メンタルヘルス対策として相談担当者を設け、職位・職種の垣根なく相談できる体制づくりに努めております。

さらに、感染症対策として毎年、産業医によるインフルエンザ予防接種を実施し、感染拡大の抑制に効果を上げております。



担当者間で創意工夫し健康管理を推進（密）



職場内での感染症対策

柴田工業株式会社

所在地 岩手県盛岡市開運橋通1番40号

従業員数 17人

事業内容 一般土木

(令和3年6月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社は北東北3県を中心に土木工事を手掛けている会社です。体を使う仕事のため、従業員の健康診断受診・健康管理についてはもともと意識的にやってきました。

近年、従業員の高年齢化が進み、“健康で長く働いてもらいたい”という考えが強くなるなか、全国土木建築国民健康保険組合から健康宣言事業に参加を勧められたことがきっかけで、健康経営に取り組み始めました。

特に力を入れた取り組みとその効果

従業員に運動の機会について話を聞くと、事務所勤務の従業員はもちろん、現場に出ている従業員も仕事以外での運動の時間が少ないことがわかったので、運動の推進に力を入れました。現場では毎朝ラジオ体操がありますが、事務所でも朝と昼にラジオ体操を実施しています。朝から運動をすることでスイッチが入り、仕事にも良い影響を与えていると思います。

また、kencomのウォーキングイベントに参加し、みんなで歩数を競い合っています。イベントのおかげで従業員同士のコミュニケーションも増え、社内の雰囲気も以前より柔らかくなりました。そして普段からウォーキングをするなど体を動かす習慣が身につき、健康に対する意識も高まってきたように感じます。



1日2回のラジオ体操



助成金で購入した熱中症対策の空調服

ホームページ

<https://www.shibatakogyo.com/>

中城建設株式会社

所在地 宮城県仙台市宮城野区幸町2丁目23-1

従業員数 37人

事業内容 総合建設業、不動産賃貸管理事業、不動産特定共同事業、保育園事業 (令和3年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

我が社は以前より健康づくりに力を入れておりましたが、「健康経営」に取り組むこととなったきっかけは、「会社にとって社員は大切な人財であるため、社員がいつまでも健康でいきいきと働ける職場環境を整えることが大事である」と考えたからです。

「健康経営」は人材定着率の向上や医療費の抑制につながり、社員の健康状態やメンタルヘルスの改善を行う事は、業務のパフォーマンスアップにもつながっています。

特に、働きやすい職場づくりの取り組みとして、職場のコミュニケーション促進に力を入れており、年齢を超えて良い関係を築けるようサポートしています。

特に力を入れた取り組みとその効果

社員同士のコミュニケーションを図るため、例年季節ごとにイベントを実施して来ましたが、コロナ禍にあり集団での行事が軒並み中止かZoom開催となったため、コミュニケーションを図る場が無くストレスが溜まって来ていると感じました。そこで新たな福利厚生活動として契約農園でのスイカ収穫体験を今年から開催しました。

また、以下2つの手当を新設し活用しています。

1つ目は「1オン1手当」。これは上司が部下を誘い、悩み事を聞いたり相談事を受けたりする場合の会食代を、1人当たり8千円会社が支給するものです。

2つ目は「ワクコミ応援手当」。これはワクワク&コミュニケーションの略で、その名の通り社員がワクワクしながら働く為のコミュニケーション作りに対する手当です。現場内メンバーや部署ごとの打ち上げなど少人数で行う社内会食の一部として、1人当たり5千円を会社が負担します。当初「1オン1手当」は「さし飲み手当」という名前でしたが、現在の情勢を鑑み、お酒飲み限定せず、昼食等でもコミュニケーションを図れるよう名前を変えて運用しております。先日も元気のない部下を上司がうなぎ屋へ誘い、悩み相談を解決して元気に現場へ通っていると報告を受け、本取組の効果を実感しております。



昨年に引き続き Zoom による安全大会



コミュニケーションの一環でスイカ収穫体験

ホームページ

<https://nakashiro.co.jp/>
<https://www.facebook.com/nakashiroconstruction/>

株式会社中館建設

所在地 岩手県二戸市米沢字荒谷30-5

従業員数 66人

事業内容 総合建設業、介護福祉事業

(令和3年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

3年程前から中高齢の従業員が多くなり、先入観や見落とし、注意力の低下や判断ミスなどのヒューマンエラーが多発し始めてきた。また、人材が慢性的に不足しており、残業や休日出勤も高い水準で、有給休暇取得率も低かった。

こうしたことから、従業員のモチベーション・身体・メンタルの状態が悪くなることが懸念されたため、この状態を打破するため、従業員に寄り添った健康経営を組織的に取り組み、実践していかなければならないと思った。

特に力を入れた取り組みとその効果

安全衛生委員会が中心となり従業員の心と体の健康保持増進のための活動を行っている。特に受診勧奨には力を入れており、健診結果に基づいて、所属長や健康管理担当者から再検査・精密検査の対象者全員へ、受診するまで声掛けや文書での勧奨を行い、受診率向上を図っている。また、仕事と家庭の両立を支援するため、「ノー残業デー」と有給休暇取得率向上・時間外労働の削減にも取り組んでいる。毎週水曜日は「ノー残業デー」とし、水曜日の夕方には、PCの電源を切るよう声掛けをし、社内から退社してもらい残業をしないようにしている。また、上司が率先して行動を行ったところ、有給取得率が対前年比7%向上した。さらに、社員旅行に毎年行くようにしたところ、職場での情報共有やコミュニケーションが円滑になり、チームワークがより強化された。



朝礼時に会社の社訓等を全員で唱和



九州方面への社員旅行

株式会社深松組

所在地 宮城県仙台市青葉区北山1-2-15

従業員数 116人

事業内容 特定建設業・不動産賃貸業・不動産取引業

(令和3年8月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

深松組が健康経営に取り組むことになったきっかけは大きく分けて2つあります。

1つ目は、健康管理への意識の低さでした。当社は『社業の維持発展を通じて従業員の高い福祉を図っていく』という社是のもと、従業員のスキルアップサポートを長年行ってきました。しかし、健康増進の取り組みについてはあまり進んでいなかった為、社内全体で健康管理の意識が低い状態が続き、保健指導対象者の人数もなかなか減りませんでした。

2つ目は、従業員だけでなく、普段支えてくれている家族も一緒にケアできる仕組みをつくりたいという思いからでした。従業員が健康でいなければ、十分な力を発揮できず、会社の業績に関わる大きな問題となります。そこで、従業員とそれを支える家族の健康もきちんとケアすることは、会社にとって当然の課題だと考えました。

「会社=人」という考えのもと、健康管理の意識づけをし、本人だけでなく家族も心身共に健康であるため、健康経営に取り組んでいます。

特に力を入れた取り組みとその効果

特に力を入れているのは、こころとからだの健康保持・増進です。具体的には、管理栄養士を招いての講話や野菜摂取量チェックのイベントを実施し、従業員の健康管理に対する意識を向上させたり、ソフトボール大会やフットサル大会等に参加することで運動機会を増やす取り組みを行っています。はじめは、からだの健康が目的でしたが、大会に向けた練習によって、老若男女問わず社員同士のさらなるコミュニケーション促進の効果も得ることができ、こころの健康にもつながっているようです。

また、余暇の充実やワークライフバランスの実現ができる外部の福利厚生サービスへ加入し、従業員はもちろん、その家族へのケアも拡充したことで、従業員から「家族と過ごせる時間が増えた」という声もあがりました。

これらの取り組みを行った結果、一人一人の健康意識が高まり、保健指導対象者の人数が減少し、定期健康診断に加えて自主的に人間ドックを受ける人も増加しました。

全社的に健康に対して取り組むことで社内の一体感の構築に役立てることも期待できるため、これからも健康経営を続けていきたいと思っています。



MIFA フットボール大会



福利厚生事業主催のソフトボール大会

東洋ケミカルエンジニアリング株式会社

所在地 東京都港区六本木3丁目18-12

従業員数 127人

事業内容 建設業

(令和3年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社の社訓には「企業は人とその和なり」とあります。やはり人と人との繋がりが大切です。そんな中、某生命保険会社様の担当社員の方からのお勧めもあり健康経営セミナーに参加して健康経営の仕組みを知りました。社員にも「良い職場環境の中で健康に働いてもらい、生産性を向上させることが出来れば」との思いから取組を始めようと思ったのがきっかけです。

社員が、今よりも健康で今よりも楽しく生活できるようにと願っております。

特に力を入れた取り組みとその効果

屋外喫煙所を特に設けていなく、漠然と「このあたりで」と言ってそこが屋外喫煙所となっていたが7月に屋外喫煙所を設けました。事務所から離れているため、タバコを吸いに行くのが「面倒だなあ」と思い、少しでも我慢→本数が減る→禁煙に繋がれば幸いです。また、健康経営担当者が喫煙と健康に関する資料を作成し喫煙者全員に配布をした。(禁煙対策)

※8月末のアンケートで2020年度喫煙率との差がみれる

全社員対象として部署ごとに分けて健康習慣アンケートを実施した。異変を感じられた部署の対象者には全員、外部カウンセラーがカウンセリングを実施している。(1グループ15名程度として個人が分からないように配慮) カウンセラーからは特に問題があるとの報告は受けていない。また、希望者にはカウンセリングを受けられる環境にしている。(心の健康づくり)



「健康経営宣言」と担当者の皆さま



喫煙所の設置風景

ホームページ

<https://toyochemical.com/recruit/event/>

株式会社鈴木軌道

所在地 愛知県大府市北崎町井田 252-6

従業員数 46人

事業内容 鉄道工事請負業

(令和3年8月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

弊社は東海道新幹線の線路を検査し、メンテナンスする会社です。終電から始発の夜間に作業をするため、昼夜逆転の生活となります。雨の日も風の日も365日欠かさず屋外で業務を行わなければならないため、肉体的な負担も大きいのが実情です。

10年ほど前から、建設業への就職を希望する人の割合が急激に減少し、人材の確保が難しくなるとともに、教育体制が時代錯誤となり、人材が定着しない時期が続きました。線路を直すためには経験が重要となり、一人前になるまでに10年～20年を要します。技術が継承されないままでは新幹線の安全を守れなくなる、という危機感がありました。人が定着する会社を目指すために何が必要かを話し合い、「社員が働く環境を整える」「新幹線の安全を守る為に、業務上不規則な生活になりがちな社員の健康を守る」ことが大切だと考えました。

健康経営が認知される以前より取り組みを始めており、その成果が認められ、健康経営優良法人に5年連続で認定されております。

特に力を入れた取り組みとその効果

弊社の健康診断は年2回。受診率は100%です。貴組合のご協力があり検診車に来ていただいています。通常の検査項目には含まれていない一酸化炭素濃度、血管年齢、体脂肪の測定。また、「ベジチェック」と呼ばれる野菜摂取量を数値で示す機械をレンタルし、禁煙や肥満、食生活への意識付けを行っています。個人ごとに健康診断の結果に応じた健康レシピを配布。寮生活を送る新入社員にも、偏った食事にならないよう栄養士に指導をお願いし、食生活の改善を促しています。

こころの健康づくりの面では、50名以下の企業には義務付けられていないストレスチェックを実施しています。年1回、個人面談を行い働き方に不満はないか、会社への要望はないかを聞く機会を設け、できる限り対応するようにしています。

上記の取組みに共通することは「見える化」です。できる限り数字による「見える化」をすることで、自身の健康に正面から向き合ってもらようよう促しています。

別の「見える化」の一例として、会社を設置してある自販機に、飲料別糖分含有量を示したポスターを掲示しています。皆、糖分の多さに驚き、飲み物の売れ行きも大きく変わりました。



健康診断時の
ベジチェックの様子



飲料別糖分含有量
ポスター

ホームページ

<https://suzukikidou.business.site/>

砺波工業株式会社

所在地 富山県砺波市中央町1番8号

事業内容 **総合建設業**

従業員数 93人

(令和3年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

企業にとって人財は非常に大切な経営資源であり、社員の身体の健康(安全)と、心の健康(安心)をグッドコンディションにすることが、企業業績にも直結すると考え、「社員が健康でいきいきと働くことができる企業風土づくり・職場環境づくり」にとり組むことにしました。

まずは、快適に働けるように時間単位の年次有給休暇制度導入や、40歳以上の社員全員の人間ドック受診。そして当時の状況として、多数の現場が短納期に追われて残業が続き、休日取得も憚る雰囲気の中で、上司と部下の仕事の価値観の食い違いからくる若手社員の仕事に対する意欲の低下の改善策として、会社的に長時間残業を減らすとともに、メンタルヘルスの窓口を設けることにしました。

特に力を入れた取り組みとその効果

H28年3月より、メンタルヘルス個人面談を実施しております。外部産業カウンセラーに、毎月6名ずつ個人面談を行ってもらってます。面談者は直接上司には話せないことでも、第三者の産業カウンセラーには話せる事が多くあり、心の負担を少しでも軽くすることができます。上層部は、会社への要望等をカウンセラーを通して定期的に知ることができ改善策を設けることができます。社員は現在どのような状態か、そしてどのような事を思っているのか。また、対処方法や改善点等のアドバイスも頂けるので対処しやすいです。個人面談で社員の声が聞けるからこそ対処がし易く、要望等に添った対処ができます。



健康経営にかかる 5つの対策を実施



一般向けメンタルヘルス研修の様子

ホームページ

<http://www.tonamikogyo.co.jp>

株式会社きんぱい

所在地 大阪市大正区三軒家東3丁目10番12号

従業員数 362人

事業内容 ガス配管工事・ガス住宅設備工事

(令和3年8月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

Daigasグループの一員として、主に法令等遵守と社員の福利厚生観点から様々な取り組みを実施しており、「ヘルスアップチャレンジ」にも、初回（平成28年）から参加しています。「健康経営」を意識して取り組むようになったのは、平成29年に大阪健康支援室様から「健康経営度調査」への回答をご提案いただき、サポートを受けながら挑戦し始めた頃です。フィードバックレポートで全国平均・業界平均と自社の立ち位置を確認することで課題を把握したり、担当者向けのセミナーでポイントを学んだりする中で、健康関連施策の効果を気にかけるようになりました。なかなか効果が見えづらい分野ではありますが、根気強く取り組みを続け、心身ともに生き生きと働ける事業所づくりを進めたいと考えています。

特に力を入れた取り組みとその効果

30歳以上の社員は原則、4～6月に関西健康管理センターで生活習慣病健診を受診しており、日程調整時には腫瘍マーカーと胃内視鏡検査の希望有無を確認することで任意検査の受診率向上を図っています。令和2年度からは選択可能な検査を増やしたことで、スマートドックや乳腺エコー等の希望者も増えました。令和3年度は、センターで受診する社員の85%以上がオプション検査を受けています。健診後の特定保健指導は例年、勤務時間中の実施を促しており、対象者にメリットを伝えて実施率の向上を図っています。健診当日の「みなし特定保健指導」は手軽に受けられることから、希望する社員が増えてきました。また、平成31年度（令和元年度）から導入したスーパーフレックスタイム制度を社内に浸透させ、通院や治療の時間を確保しながら柔軟に勤務できる環境を整えています。（生活習慣病対策）

総務部に「なんでも相談窓口」を置き、社員から広く相談を受け付けています。毎年のストレスチェックは全社員を対象に実施し、課題に応じた社内研修を検討する等、職場改善に生かしています。令和3年度からはエンゲージメント、プレゼンティーズム、生活習慣に関する設問を追加し、全社傾向や属性別の特徴を様々な切り口で分析し始めました。（こころの健康づくり）



血圧計と体組成計を全7拠点に設置しました



認定証・宣言・ポスター等を掲示しています

ホームページ

<http://www.kinpai.gr.jp/recruit/culture/>

西日本高速道路ファシリティーズ株式会社

所在地 大阪府茨木市東中条町1番6号 あいおいニッセイ同和損保・茨木ビル **従業員数** 643人

事業内容 高速道路の通信設備、建築・建物施設の維持管理業務 (令和3年8月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

西日本高速道路ファシリティーズ株式会社では、平成25年秋に健康管理室を設置しました。それまでは、健康診断結果に「要再検」や「要受診」となっているにもかかわらず、「就業上問題ない」との産業医判断があれば、その後の健康管理は社員任せでした。

しかし、社員任せでは会社の大切な財産である社員の健康を守れません。そこで、健康管理室を設置してからは、積極的に社員の健康保持・増進への取り組みを進め、社員全員が毎日活き活きと仕事ができ、ポジティブに、また自然に健康管理ができる職場づくりを目指しました。

そうした取り組みを継続的にを行い、現在に至っては、健康管理を経営的視点から捉え、社員の健康維持・増進を目的とした取り組みを戦略的に実践しています。

特に力を入れた取り組みとその効果

健康診断受診率は100%を継続して達成しています。当社では、30歳以上を対象に人間ドックの受診を推奨しており、社員が人間ドックを受診しやすい環境を作ることを目的に、受診日を特別休暇とし、受診費用の補助も併せて制度化しました。(1日人間ドック利用：会社が9割負担)

人間ドックで精密な検査結果を毎年受け取ることで、その経過について社員が自身の健康状態により関心を持つこととなり、ヘルスリテラシーの向上へとつながりました。その結果、社員は精密検査や受診が必要と判定された場合、受診行動に積極的になっています。

ストレスの軽減やさまざまな悩み事の相談できる「メンタルヘルス相談窓口」も設置し（外部委託 平成29年設置）、若手社員向けにメンタルヘルス基礎知識のWeb学習などのメンタルヘルス研修も行い、こころの健康づくりにも取り組んでいます。

また、令和3年度からは毎月22日を「禁煙の日」とし、メール配信やポスターを社内掲示して喫煙率を下げる取り組みを始めました。禁煙外来を受診する際の費用補助をする制度もあり、一人でも多くの社員が禁煙のチャレンジが出来るよう、取り組みを進めていきます。



毎月22日は、「禁煙の日」の取り組み



「アンガーマネジメント」講習実施

株式会社西日本科学技術研究所

所在地 高知県高知市若松町9番30号

従業員数 33人

事業内容 建設コンサルタント

(令和3年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

弊社の企業理念は「地球規模で考え、自分の地域（持ち場）で行動する」です。所員一人一人が自分の力を十分に発揮するには健康が一番です。創業47年前から社員もその家族も健康にいられるよう変わらぬ方針を続けております。

社員の健康診断には、「忙しいから」を理由に受診をしない方がいないように社内で協力し全員が受診をしています。健康であることが活力向上につながり、笑顔で挨拶ができ、それが社会人としても企業人としても成長につながり、会社の発展へと繋がっていくと思います。

特に力を入れた取り組みとその効果

創業時に植えた楠（県の木）も今では社屋が見えないくらい大きく育っています。少し贅沢ですが、この庭があることによって季節感を肌で感じ五感も十分に働かせる一つと思います。春は鳥のさえずり、夏ならセミの声と一緒に仕事をしています。

当社は自然と環境を大切にする企業です。そのため、喫煙対策には創業時から特に力を入れています。室内禁煙はもちろんのこと外での歩きタバコも禁止しております。現在の喫煙率は5%となっています。

また、各部署間でのコミュニケーションを高め、風通しの良い明るい職場を目指しております。朝礼時に全員でラジオ体操を行い、お互いの健康の声かけをしています。毎年4月には防災を兼ねた徒歩通勤を行い、前年度との時間を比べ自身の体力がどう変化しているのか気づき、運動の取り組みを促進するきっかけに役立っています。



朝礼でのラジオ体操風景



ポスター掲示風景

ホームページ

<https://www.ule.co.jp/company/initiatives>

株式会社ヒカリ

所在地 香川県丸亀市田村町1238

従業員数 102人

事業内容 建設業 フィットネスクラブ運営他

(令和3年6月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

3年前、健康経営優良法人認定制度を初めて知り、社員が心身ともに健康で元気に働ける会社を目指して、健康経営に取り組んできました。

以前から取り組んでいる、健康診断の全員実施、毎日のラジオ体操や感染症対策などに加え、こころの健康づくりや長時間労働への対応を行い、健康経営をさらに意識するようになっています。

生涯ありがたい笑顔を数多く作りたい、様々な生活のシーンでお客様や地域の皆様のお役に立ちたい、との思いで、ファーストコールカンパニーを目指しています。社員が心身ともに健康で、生き活きと仕事ができるように今後も積極的に健康経営に取り組んでまいります。

特に力を入れた取り組みとその効果

当社においては、自社で運営しているフィットネスクラブレフコを定期的に開放し、社員が自由に利用できるよう運動機会を提供し、運動不足の解消やリフレッシュを図っています。

感染症対策として、インフルエンザ予防接種費用の会社負担、マスク、アルコール消毒液等の配布を行い、徹底した対策を行っています。

また、コロナの影響で昨年から延期していますが、社内運動会や社内旅行などコミュニケーション促進を目的としたイベントを実施しています。

社員の働きやすい環境を整え会社全体の生産性向上に繋がればと期待しています。



社内旅行集合写真



フィットネスクラブレフコ利用時の写真